

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
				科目コード	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コ ー ス
コミュニケーション活動 I			講義・演習		インテリア・空間デザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	60	2	宮沢 千夏子
授業の目的・目標					
様々な活動を通して学科単位、クラス単位、学校単位でのコミュニケーションを図る。					
授業の概要					
主に学校行事、学科活動を行う活動授業とする。デザインを学ぶ学生の基本姿勢として、自分の足で情報を収集し、得た情報を分析し自分自身のアイデアに反映する等のデザイン訓練を行う。静岡県内に限らず、各地で開催される展示会やイベントを視察する。					
成績評価の方法					
1、平常点（主体的な授業参加度・出席率） 2、学習意欲（授業の取り組む姿勢）				平常点	50%
				課 題	50%
使用テキスト・教材					
必要に応じてテキストやパンフレットを配布					
授業内容・授業計画					
	時間数			時間数	
1. 始業式	2	16. 学科活動		2	
2. 終業式	2	17. 学科活動		2	
3. 球技大会	2	18. 卒業制作展視察		2	
4. 他、学校行事	2	19. 卒業制作展視察		2	
5. 東京研修	2	20. 卒業制作展視察		2	
6. 東京研修	2	21. 卒業制作展視察		2	
7. 東京研修	2	22. 卒業制作展視察		2	
8. 東京研修	2	23. 卒業制作展視察		2	
9. 東京研修	2	24. 卒業制作展視察		2	
10. 東京研修	2	25. 卒業制作展視察		2	
11. 東京研修	2	26. 写真技術の習得		2	
12. 東京研修	2	27. 写真技術の習得		2	
13. 学科活動	2	28. 写真技術の習得		2	
14. 学科活動	2	29. 写真技術の習得		2	
15. 学科活動	2	30. 写真技術の習得		2	
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
				科目コード	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
建築設計製図 I			講義・演習		インテリア・空間デザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	60	2	小沼 勝也 澤本幸伸
授業の目的・目標					
インテリア・建築の基礎製図の知識と表現力を身につける。					
授業の概要					
インテリア・建築を実現するための手書きによる、木造平屋建て住宅の製図の基礎学習。					
成績評価の方法					
課題提出、課題に取り組む姿勢の総合評価。				学習意欲	50%
				課 題	50%
使用テキスト・教材					
配布プリント、教材「建築製図 基本の基本」					
授業内容・授業計画					
1. 製図用具の使い方と線の書き方。					時間数 4
2. 製図のルール、図面の種類。					4
3. 正投影図(平面図、立面図)の理解。					4
4. 等角図(アイソメトリック)、展開図の理解。					8
5. 木造平屋建住宅の平面図の作図。課題提出					10
6. 木造平屋建住宅の配置図の作図。課題提出					5
7. 木造平屋建住宅の立面図の作図。課題提出					5
8. 木造平屋建住宅の矩計図の作図。課題提出					20
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
				科目コード	
時間数は45分換算					
授 業 科 目 名		授 業 形 態	学 科 ・ コ ー ス		
建築環境工学		講義・演習	インテリア・空間デザイン科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	60	2	伊達 剛 辻 雄貴
授業の目的・目標					
光や風、周辺の地理的条件という人間の生活と密接な関わりのある環境と、そこに建てられる建物のデザインとの関係性について学ぶことで、形態と環境の関係性の理解を深め、環境を考慮したデザイン力を向上させることができるようになる。 「自分の素材」をみつけ、理論的かつ実践的な「空間造形力」を身につける。					
授業の概要					
環境に対する考え方の基本的知識を得、環境からデザインをどう考えたらよいのか、空間をどのようにとらえていけばよいのかを、実例を通してその効果を学び、環境とデザインの関係性に対する理解力を身につける。 建築と自然（植物）をテーマに「空間の活かし方」を学ぶ。					
成績評価の方法					
1. 課題（提出率と提出された課題の完成度） 2. 平常点（主体的な授業参加度） 3. 学習意欲（学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢） これらを総合的に評価したうえで決定する。 ただし課題が未提出の場合、成績の評価は行われない。				課 題	40%
				平 常 点	40%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
必要に応じてプリント配布					
授業内容・授業計画					
	時間数		時間数		時間数
1. 環境とは何かを考える(形態との関係性)	2	16. 表現力を身につけるために	2		
2. 環境と空間の関係性について(風土と建築)	2	17. 植物のこと。自然のこと	2		
3. 環境と空間の関係性について(名作木造住宅からの発想(読取))	2	18. 建築のこと	2		
4. 環境と空間の関係性について(名作木造住宅からの発想(解説))	2	19. 空間のこと	2		
5. 環境と空間の関係性について(名作RC住宅からの発想(読取))	2	20. アウトプット①	2		
6. 環境と空間の関係性について(名作RC住宅からの発想(解説))	2	21. アウトプット②	2		
7. 建築環境の概要(熱環境・空気環境)	2	22. 環境のこと、舞台美術のこと	2		
8. 建築環境の概要(光環境・音環境)	2	23. アウトプット③	2		
9. 実例から読み解く(課題取組①)	2	24. アウトプット④	2		
10. 実例から読み解く(課題取組②)	2	25. 素材のこと	2		
11. 実例から読み解く(課題取組③)	2	26. 「空間に生命力を与えるための彫刻をつくる」①	2		
12. 実例から読み解く(課題取組④)	2	27. 「空間に生命力を与えるための彫刻をつくる」②	2		
13. プレゼンテーション(課題成果品の発表①)	2	28. 「空間に生命力を与えるための彫刻をつくる」③	2		
14. プレゼンテーション(課題成果品の発表②)	2	29. 「空間に生命力を与えるための彫刻をつくる」④	2		
15. //	2	30. 「空間に生命力を与えるための彫刻をつくる」⑤ 全体講	2		
その他		関連科目			
※单元ごとと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
				科目コード	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
一般構造 I			講義・演習		インテリア・空間デザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	1	清水 利至
授業の目的・目標					
インテリアデザイン業界の認知を深め、インテリアデザインに繋がる建築物本体の構造についての知識を得る。デザインと建物の安全性について理解する。また、木材の伐採から乾燥、製材を行う一連の流れを学ぶことで、木という素材を扱うに当たり考慮すべきことを知り、樹種や生産方法による特性の違いをデザインの中に活かすことができる力をつける。					
授業の概要					
建築構造の基本と木構造について理解する。建築物にかかる力やいろいろな構造形式を学習します。木構造の構成部材や接合部の仕組みを知り、それらの名称を覚える。最終授業で学習した内容に関する筆記テストを行う。木材の種類の違いを知り、その生産現場の様子を知り、木材の乾燥方法の特性を学ぶ。校外授業で学んだことをレポートにまとめる。					
成績評価の方法					
1、レポート（提出率と提出させたレポートの完成度） 2、学習意欲（学習意欲の有無、授業の取り組む姿勢） 3、筆記テスト（学習内容の理解度）				レポート	30%
				学習意欲	10%
				筆記テスト	60%
使用テキスト・教材					
カメラ 等 必要に応じてプリントの配布 「図説 やさしい建築一般構造」 今村 仁美、田中 美都					
授業内容・授業計画					
1. 建築物の構造形式・分類 2. 木構造の特徴 3. 木材・木質材料 4. 地盤と基礎 5. 木造軸組工法の構成部材 6. 木造軸組工法の壁量計算 7. 屋根の構造 8. 壁・床・天井の構造 9. 建具の構造、木造の断熱性能 10. 既存建物調査と耐震診断 11. 期末テスト					時間数
					2
					2
					10
					2
					2
					2
					2
					2
					2
					2
					2
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
				科目コード	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コ ー ス
建築材料			(講義)・演習		インテリア・空間デザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	60	2	宮沢 千夏子
授業の目的・目標					
①インテリアデザインに必要な材料を実物を見学したり、セミナー開催を中心にした授業を行い、材料の理解力を高める。 ②インテリア・建築業界の認知を深める。					
授業の概要					
インテリア・建築の材料に関わるメーカーのショールームの見学、展示会の参加、または、材料に関わるセミナーの参加によって材料を知る。見学後レポートを作成し、提出。 ※見学・セミナーについてはスケジュールの関係により、変更や入替えの可能性あり。					
成績評価の方法					
1、レポート（提出率と提出させたレポートの完成度） 2、平常点（主体的な授業参加度） 3、学習意欲（学習意欲の有無、授業の取り組む姿勢） ※レポートは必ず、ファイルに入れて提出。自身の振り返りができるレポートの作成をする				レポート	50%
				定 常 点	30%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
必要に応じてプリントの配布、メジャー、「インテリアコーディネーター合格教本上巻・下巻」					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. オリエンテーション					4
2. 仕上げ材ショールーム① 見学（タイル・石材）					4
3. 仕上げ材ショールーム② 見学（建材・住設他）					4
4. 仕上げ材ショールーム③ 見学（照明・電設・建材他）					4
5. 2～4の振り返り、まとめ					4
6. 内装材の種類（セミナー開催）					4
7. ウインドウトリートメントの種類（セミナー開催）					4
8. エクステリア材料の種類（セミナー開催）					4
9. 外装材の種類（セミナー開催）					4
10. 6～9の振り返り、まとめ					4
11. 床材について(セミナー開催)					4
12. 仕上げ材ショールーム④ 見学（タイル・石材）					4
13. 仕上げ材ショールーム⑤ 見学（建材）					4
14. 仕上げ材ショールーム⑥ 見学（家具）					4
15. 11～14の振り返り、まとめ					4
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			時間数は45分換算		年 度	2025年度	
					科目コード		
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
インテリアコーディネート I			講義・ 演習		インテリア・空間デザイン科		
履修学年	履修学期	必修・ 選択	時間数	単位数	担当教員		
1	通年	必修	60	2	岩崎 京子		
授業の目的・ 目標							
2年次のインテリアコーディネーター資格取得。試験勉強を通して、建築インテリアの基本知識全般を身につける。実践で仕事に活かすための知識習得。							
授業の概要							
インテリアコーディネーター資格取得に向け、試験対策と共に、インテリアデザイン・建築の基礎知識を身につける。講義から過去問題を使った演習を繰り返し、一次試験合格を目指す。							
成績評価の方法							
1、平常点（主体的な授業参加度） 2、期末テスト					平常点	20%	
					期末テスト	80%	
使用テキスト・ 教材							
インテリアコーディネーター1次試験合格教本上・下							
授業内容・ 授業計画							
			時間数			時間数	
1.	インテリアの意識の芽生えとインテリア空間		2	16.	住宅の安全性、性能と評価、コスト維持管理		2
2.	インテリア産業の発展とコーディネーターの誕生		2	17.	住宅の生活様式		2
3.	日本建築の歴史(飛鳥～奈良～鎌倉～室町)		2	18.	LDKの構成手法		2
4.	日本建築の歴史(室町～安土桃山～江戸～明治		2	19.	ユーティリティの構成手法		2
5.	日本建築の歴史(大正～昭和)、近代デザイン		2	20.	個室、高齢者の居室、サニタリーの構成手法		2
6.	西洋建築・家具の歴史(古代・中世)		2	21.	リフォーム計画		2
7.	西洋建築・家具の歴史(近世・近代)		2	22.	生活と家具について、家具の分類		2
8.	近代デザインの成立・アーツアンドクラフツ運動		2	23.	LDの家具の選び方		2
9.	北欧が生んだ建築家・家具デザイナー		2	24.	名作家具について、椅子の種類		2
10.	ミッドセンチュリーのインテリア		2	25.	椅子、テーブル類の構造と材料		2
11.	住宅空間の種類と手法		2	26.	家具材料と金物、造作部品		2
12.	人体・動作寸法、感覚・知覚特性の検討		2	27.	ウインドウトリートメント		2
13.	心理・行動特性、人間工学面の検討		2	28.	ウインドウトリートメント		2
14.	家具・設備の種類と計画・検討		2	29.	期末テスト		2
15.	空間の配置と規模、寸法の検討		2	30.	期末テスト解答・解説		2
その他			関連科目				
※单元ごとと演習課題を実施する。			一般構造 I、材料知識 I、デザイン史				
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
				科目コード	
授 業 科 目 名			授業形態	学 科 ・ コー ス	
家具デザイン			講義・演習	インテリア・空間デザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	小沼 勝也
授業の目的・目標					
インテリア設計の中に家具の占める割合は多く、既製家具のみならずオーダー家具（造作家具）に関する知識が重要で、家具を構成する材料・構造・制作・製図について学習する。					
授業の概要					
家具図面（三面図）の基本、シンプルな家具図1（カラーボックスタイプ）、棚・扉・引き出し等の要素を含んだ家具図2の製図					
成績評価の方法					
課題（図面）の提出とその評価				平常点	40%
				課題評価	60%
使用テキスト・教材					
テキストは資料をコピーしたものを使用					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	家具図(三面図)の描き方について	2			
2.	家具図1	2			
3.	〃	2			
4.	家具図2	2			
5.	〃	2			
6.	〃	2			
7.	〃	2			
8.	自分のデザインした家具図	2			
9.	〃	2			
10.	〃	2			
11.	〃	2			
12.	〃	2			
13.	〃	2			
14.	〃	2			
15.	〃	2			
その他			関連科目		
※演習課題を複数コマにて実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
				科目コード	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
パース技法 I			講義・ 演習		インテリア・空間デザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	60	2	宮沢千夏子
授業の目的・目標					
①パース技法の習得と理解、空間把握がしっかりできるようになる。 ②クライアントに提案することを意識したパース作成ができる。 ③短時間でもパース作成ができる。					
授業の概要					
①1 消点パースの描き方を習得していく。 ②授業時間内でパースを立ち上げ、着彩まで仕上げていくことを意識し、繰り返し行う。					
成績評価の方法					
1、課題（提出率と提出させた課題の完成度）				課 題	50%
2、平常点（主体的な授業参加度）				平 常 点	30%
3、学習意欲（学習意欲の有無、授業の取り組む姿勢）				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
必要に応じて授業プリントを配布 プロジェクトペーパー・色鉛筆・コピックマーカー・ コピックマルチライナー・30cm定規・三角スケール					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. パースとは？パースの基本 / 様々な形のトレーニング					4
2. 物を描くトレーニング					4
3. 一消点図法演習①					4
4. 一消点図法演習②					4
5. 一消点図法演習③					4
6. 一消点図法演習④					4
7. 一消点図法演習⑤					4
8. 一消点図法演習⑥					4
9. 一消点図法演習⑦					4
10. アイソメ図①					4
11. アイソメ図②					4
12. 最終課題					4
13. 最終課題					4
14. 最終課題					4
15. 最終課題					4
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年 度		2025年度	
			科目コード			
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス	
デザインCAD I			講義・演習		インテリア・空間デザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	60	2	小沼 勝也	
授業の目的・目標						
建築CAD検定3級取得を目標に、JW_CADの基本操作を学ぶ						
授業の概要						
JW_CADの基本操作の学習。建築CAD検定3級過去問題集を製図。建築CAD検定試験の実施。						
成績評価の方法						
学習意欲40%、検定試験の結果60%					学習意欲	40%
					検定試験	60%
使用テキスト・教材						
教科書（建築CAD検定試験問題集）						
授業内容・授業計画						
			時間数			
1. CADについての基礎知識			2	16. 過去問演習		
2. 基本コマンド1			2	17. "		
3. 基本コマンド2			2	18. "		
4. 基本コマンド3			2	19. "		
5. 変形コマンド1			2	20. "		
6. 変形コマンド2			2	21. "		
7. 例題作図1			2	22. "		
8. 例題作図2			2	23. "		
9. 例題作図3			2	24. "		
10. 3級検定試験過去問の解説1			2	25. 模擬試験1		
11. 3級検定試験過去問の解説2			2	26. "		
12. 3級検定試験過去問の解説3			2	27. 模擬試験2		
13. 3級検定試験過去問の解説4			2	28. "		
14. 過去問演習			2	29. 模擬試験3		
15. "			2	30. "		
その他			関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
				科目コード	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コ ー ス
空間デザイン基礎			講義・演習		インテリア・空間デザイン科
履 修 学 年	履 修 学 期	必 修 ・ 選 択	時 間 数	単 位 数	担 当 教 員
1	通 年	必修	60	2	小泉秀一郎 松尾憲宏
授業の目的・目標					
模型製作演習をベースに、物や空間の立体的な認識・理解力を深める。 デザインを考えるコツや癖をつける。デザインとは面白いものということを知る。					
授業の概要					
模型づくりを通じて、考えたものを立体的に表現する手法を学ぶ。 模型で検討する方法を学ぶ。					
成績評価の方法					
学習意欲、課題完成度				課 題	50%
				平 常 点	30%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
プリント配布、模型製作用道具一式、					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. 課題1 自己紹介、課題説明、スチレンボードミノ+立方体作り					4
2. 課題2 スチレンボードティッシュケース					4
3. 課題3 スタイロフォーム加工 (仮 ウッドエンドール)					4
4. 続き					4
5. 課題4 写真と寸法					4
6. 課題5 階段模型づくり					4
7. 続き					4
8. 発表					2
9. 授業概要					2
10. 生活空間の寸法について、採寸					4
11. 住宅の図面を読み解く					4
12. デザイン思考について					4
13. 課題 自分が暮らす住空間の問題発見～問題解決					4
14. 続き					4
15. まとめ・発表					4
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授 業 概 要)				年 度	2025年度
時間数は45分換算				科目コード	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
巨匠デザイン学			講義・演習		インテリア・空間デザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	1	小林 良行
授業の目的・目標					
巨匠たち、個々の作品デザインの映像（DVD）をみて、興味を持ち調べる。 そして、レポートにすることで知識を得ることができる。 巨匠ファイルを作成します。					
授業の概要					
個性ある新旧の巨匠たちのデザインをとおして、その時代背景、デザインの成り立ち、製作のプロセスを共に知る。					
成績評価の方法					
レポート(70%)、学習意欲(30%)					学習意欲 30% 課 題 70%
使用テキスト・教材					
レポート（A4）は1枚以上。1枚目は必ず手描きとし、2枚目からはパソコン使用可とする。パソコンによる文章のコピー＆ペーストは禁止。画像を貼り付ける場合は全体の20％以下とし文章は80％以上とする。調べたこと以外に感想は必ず入れ、文章の内容、量が少ない場合は再提出となります。					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1.	安藤忠雄		2		
2.	ガウディ		2		
3.	マッキントッシュ		2		
4.	リートフェルト		2		
5.	カルダー、or イサム・ノグチ		2		
6.	F・L・ライト		2		
7.	ル・コルビュジェ		2		
8.	ミース・ファン・デル・ローエ		2		
9.	アアルト、ヤコブセン		2		
10.	倉俣史朗		2		
11.	深澤直人		2		
12.	片山正通		2		
13.	団塚栄喜		2		
14.	奥山清行		2		
15.	感想/マイベスト5		2		
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
				科目コード	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
色彩学			講義・演習		インテリア・空間デザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	60	2	境 香良里
授業の目的・目標					
プロダクト、インテリア、グラフィック、ファッション、プレゼンテーション資料作成など幅広い分野で色彩を効果的に美しく活用できるように実習課題を通し感性の向上を目指す。 色を楽しみ興味を持って活用、応用することを目指す。					
授業の概要					
色彩が日常生活、労働の場を与える影響や活用について色彩検定公式テキストを中心に習得します。					
成績評価の方法					
1・課題（提出された課題の完成度と提出率） 2・平常点（主体的な授業参加度） 3・学習意欲（授業に取り組む姿勢・模擬試験・検定結果） ●未提出の課題があった場合は不合格といたします。				課 題	30%
				平 常 点	30%
				学習意欲	40%
使用テキスト・教材					
色彩公式テキスト3級・A4クリアファイル30P・はさみ。ステックのり・新配色カラーカード199b					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. 自己紹介__私の歴史色__色のはたらき					2
2. 色の表現①__属性と色相環					2
3. 色の表現②__色の分類と整理法					2
4. 色彩心理__色の感情効果（カラーコミュニケーション）					2
5. 色の視覚効果					2
6. ユニバーサルデザイン					2
7. 光と色（色はなぜ見えるのか）					2
8. 色彩調和__基礎編					2
9. 色彩調和__配色技法					2
10. インテリアと色					2
11. ファッションと色					2
12. グラフィックと色					2
13. 検定対策①__模擬試験A					2
14. 検定対策②__弱点強化					2
15. パーソナルカラー診断・ブルベとイエベ・4シーズンについて					2
その他			関連科目		
理由があり課題が遅れる場合は事前に申請する					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
				科目コード	
授 業 科 目 名			授 業 形 態	学 科 ・ コ ー ス	
デザインアプリケーションⅠ			講義・演習	インテリア・空間デザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	120	4	本野 智美
授業の目的・目標					
デザインの現場で必須であるデザイン系ソフト、Illustrator、Photoshopを学びながら、インテリア業界におけるグラフィックススキルの関連と重要性を伝える。					
授業の概要					
Illustrator、Photoshop各アプリケーションの基本操作方法を習得する。ツール等の基礎知識から始まり基本操作の習得を積み重ね、簡単な図形制作から資料作成など、PCでデザインできる力を身につけていく。カテゴリー終了ごとに終了課題にチャレンジし、将来的にデザイナーとして企業に勤めることを想定した写真と文字のレイアウトセンスを磨く。					
成績評価の方法					
1. 学習意欲／取り組みの姿勢と真剣度 2. 理解度／基本操作の理解 3. 課題提出／発想力とデザインクオリティを評価対象とする□ □ □					学習意欲 20% 理解度 30% 課題提出 50%
使用テキスト・教材					
ノートパソコンは毎回持参・教科書配布～必要に応じてプリント配布					
授業内容・授業計画					
	時間数		時間数		
1. 2. 【Illustrator】基礎知識	4	31. 32. パスの描き方習得	4		
3. 4.	4	33. 34. ～パスを使った練習課題	4		
5. 6.	4	35. 36. その他の機能やツール操作習得	4		
7. 8. ツール等の基礎知識	4	37. 38. 【Photoshop】基礎知識	4		
9. 10. ～オブジェクトを使った練習課題	4	39. 40. ツール等の基礎知識	4		
11. 12.	4	41. 42. ～画像加工や補正などの操作方法習得	4		
13. 14.	4	43. 44. その他の機能やツール操作習得	4		
15. 16.	4	45. 46. ～応用課題	4		
17. 18. 文字の打ち方習得	4	47. 48. 終了課題オリエン～アイディア出し	4		
19. 20. ～文字ツールを応用した練習課題	4	49. 50.	4		
21. 22.	4	51. 52. デザイン制作	4		
23. 24.	4	53. 54.	4		
25. 26. パスの描き方習得	4	55. 56.	4		
27. 28. ～パスを使った練習課題	4	57. 58. 最終チェック～ブラッシュアップ	4		
29. 30.	4	59. 60. プレゼンテーション～クラス内講評会	4		
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。			デザインアプリケーションⅡ		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
				科目コード	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
デッサン			講義・ 演習		インテリア・空間デザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	60	2	日下 文
授業の目的・目標					
「立方体・円柱・円すい・球」など基本形の描き方を習得します。形が正確にとれること、明暗法、遠近法、量感、質感の表し方等、身の回りにあるものをモチーフに表現します。対象をよく観察し、テクニックを身に付け、光と影、風、水など、「美」はうつろい変化するものの中にあることを学びます。					
授業の概要					
デッサンとは「理解する力」のことです。写實的に表現できるようになるには対象物を深く観察、把握することが必要です。ひとつのモノ・コトを様々な視点からとらえ、再構成し、絵作りの力を養います。5時間程で一枚完成、講評会40分を行います。					
成績評価の方法					
描写力、作品完成度、平常点、授業姿勢など				平 常 点	60%
				課 題	10%
				授業態度	30%
使用テキスト・教材					
ヴィフアールF6、鉛筆、練り消しなど、スポーク、紙やすり(200番)、紙コップ					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 絵画の起源 ・ラスコーの洞窟壁画より		2	16. 自然物を描く・水の表現		2
2. デッサンとは・鉛筆等、道具の使い方		2	17. 素材を描きわける・複数のモチーフを描く		2
3. 円柱の描き方・紙コップ、折り紙		2	18. 布、ガラス、ステンレス、ワイン瓶、ロープなど		2
4. 円柱の描き方・グラデーションについて		2	19. 素材を描きわける・質感の表現		2
5. 円柱の描き方・光、影、陰について		2	20. 素材を描きわける・細密表現について		2
6. 円柱の描き方・構図について		2	21. ジェスチャーで学ぶ、リズム・誇張表現		2
7. 立方体の描き方・レンガ、木など		2	22. CISで人体表現		2
8立方体の描き方・陰影における立体表現		2	23. Bean～胸骨・骨盤を豆型に置き換える		2
9. 立方体の描き方・陰影における空間表現		2	24. 解剖学～①骨 ②筋肉		2
10. 横になった円柱の描き方		2	25～30. 人体クロッキー応用・実践		12
11. 楕円、球の描き方		2			
12. 楕円、球の描き方・丸い皿と任意のモチーフ		2			
13. 楕円、球の描き方・明暗のバランス		2			
14. 楕円、球の描き方・モチーフの設定と構図		2			
15. 自然物を描く・レモン、トマトなど		2			
その他			関連科目		
※单元ごとと演習課題を実施する。					

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
				科目コード	
時間数は45分換算					
授 業 科 目 名		授 業 形 態	学 科 ・ コ ー ス		
平面構成		講義・演習	インテリア・空間デザイン科		
履 修 学 年	履 修 学 期	必 修 ・ 選 択	時 間 数	単 位 数	担 当 教 員
1	通 年	必修	60	2	安富 万里子
授業の目的・目標					
空間デザインに応用することを目標に、平面デザインにおける表現力・発想力を磨く。また、言葉や概念をイメージ化・抽象化することにも挑戦し、画材や素材の選択をしながら個々の表現方法を開拓していく。講評会では学生間のコミュニケーションも大切に、個々のもつ感覚を発見しながら伸ばすことも目標とする。					
授業の概要					
様々な創作活動に共通する基本的な平面表現・発想法を身に着ける。 日頃目にするテキスタイルやインテリア素材、建造物のフォルムがどのように発想をされているのかを考えながら課題に向き合う。アナログ表現（手作業）を基本としながら発想法やアイデアスケッチも学ぶ。					
成績評価の方法					
1. 授業への参加；遅刻・欠席の回数（平常点） 2. 取り組み姿勢（平常点） 3. 課題の評価；特にどこまで深めたか、完成度を重視（課題） ※ 未完成・未提出課題がある場合は成績評価を行わない					平常点 30% 課題 70%
使用テキスト・教材					
○ クロッキー帳・ケントブロック・定規類 ○ その都度各自が使用する画材・素材など					
授業内容・授業計画					
	時間数			時間数	
1. 授業概要・平面構成の基礎	2	16. 課題②：テーマを持った連続模様のデザイン		2	
2. 課題①：パターンのデザイン	2	17. 課題②：テーマを持った連続模様のデザイン		2	
3. 課題①：パターンのデザイン	2	18. 課題②：テーマを持った連続模様のデザイン		2	
4. 課題①：パターンのデザイン	2	19. 課題②：テーマを持った連続模様のデザイン		2	
5. 課題①：パターンのデザイン	2	20. 課題②：テーマを持った連続模様のデザイン		2	
6. 課題①：パターンのデザイン	2	21. 課題②：テーマを持った連続模様のデザイン		2	
7. 課題①：パターンのデザイン	2	22. プレゼンテーション・講評会		2	
8. 課題①：パターンのデザイン	2	23. 課題③：定規を使用した形態表現		2	
9. 課題①：パターンのデザイン	2	24. 課題③：定規を使用した形態表現		2	
10. 課題①：パターンのデザイン	2	25. 課題③：定規を使用した形態表現		2	
11. プレゼンテーション・講評会	2	26. 課題③：定規を使用した形態表現		2	
12. 課題②：テーマを持った連続模様のデザイン	2	27. 課題③：定規を使用した形態表現		2	
13. 課題②：テーマを持った連続模様のデザイン	2	28. 課題③：定規を使用した形態表現		2	
14. 課題②：テーマを持った連続模様のデザイン	2	29. 課題③：定規を使用した形態表現		2	
15. 課題②：テーマを持った連続模様のデザイン	2	30. プレゼンテーション・講評会		2	
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
時間数は45分換算				科目コード	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
産学連携プロジェクト I			講義・演習		インテリア・空間デザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	宮沢 千夏子 安富 万里子
授業の目的・目標					
①デザインによる地域貢献を目的とし、地域のイベントを実際に手掛ける。 ②社会人基礎力「チームで働く力」を養う。 ③デザインの意図やコンセプトに基づき、実際の形にできる。					
授業の概要					
12月に行われる、クリスマスフェスタ2025に参加し、テーマやコンセプトに合わせた、ブースデザインの立案・制作・設営を行う。					
成績評価の方法					
1、平常点（主体的な授業参加度・出席状況） 2、学習意欲（授業の取り組む姿勢）				平常点	80%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
必要に応じてプリントの配布					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. オリエンテーション、イベントについての概要、事例調査					2
2. アイディア出し、デザイン案検討①					2
3. アイディア出し、デザイン案検討②					2
4. デザイン案決定、材料の検討・決定、グループ分け 等					2
5. 制作①					2
6. 制作②					2
7. 制作③					2
8. 制作④					2
9. 制作⑤					2
10. 制作⑥					2
11. 制作⑦					2
12. 制作⑧					2
13. 制作⑨					2
14. 組み立て・設営①					2
15. 組み立て・設営②					2
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年 度		2025年度	
				科目コード			
授 業 科 目 名				授業形態		学科・コース	
キャリアプランⅠ				講義・演習		インテリア・空間デザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	後期	必修	30	1	太田 稔子		
授業の目的・目標							
①ビジネスマナー検定対策 ②ビジネスマナーの基本を身につける ③社会人意識を学ぶ							
ビジネスマナー検定対策を通し、ビジネスマナーの基本を身につける。 単なる検定対策ではなく、今後の就職活動の基礎知識をつける。 社会生活に必要な意識を学ぶ。							
成績評価の方法							
授業態度・課題提出・出席を総合的に判断する。						平常点	60%
						学習意欲	40%
使用テキスト・教材							
独自に作成したワークシート及び就職に対するマナー等資料							
授業内容・授業計画							
							時間数
1. 「働く」とは 社会人意識 ビジネスマナー基本							2
2. 敬語の基本 改まり語 丁寧語 尊敬語 謙譲語							2
3. ビジネスマナー検定対策 過去問題解説等							2
4. ビジネスマナー検定対策 過去問題解説等							2
5. ビジネスマナー検定対策 過去問題解説等							2
6. ビジネスマナー検定対策 過去問題解説等							2
7. ビジネスマナー検定対策 過去問題解説等							2
8. ビジネスマナー検定対策 過去問題解説等							2
9. ビジネスマナー検定対策 過去問題解説等							2
10. ビジネスマナー検定対策 過去問題解説等							2
11. ビジネスマナー検定対策 過去問題解説等							2
12. ビジネスマナー検定対策 過去問題解説等							2
13. ビジネスマナー検定対策 過去問題解説等							2
14. ビジネスマナー検定対策 過去問題解説等							2
15. ビジネスマナー検定対策 過去問題解説等							2
その他				関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							